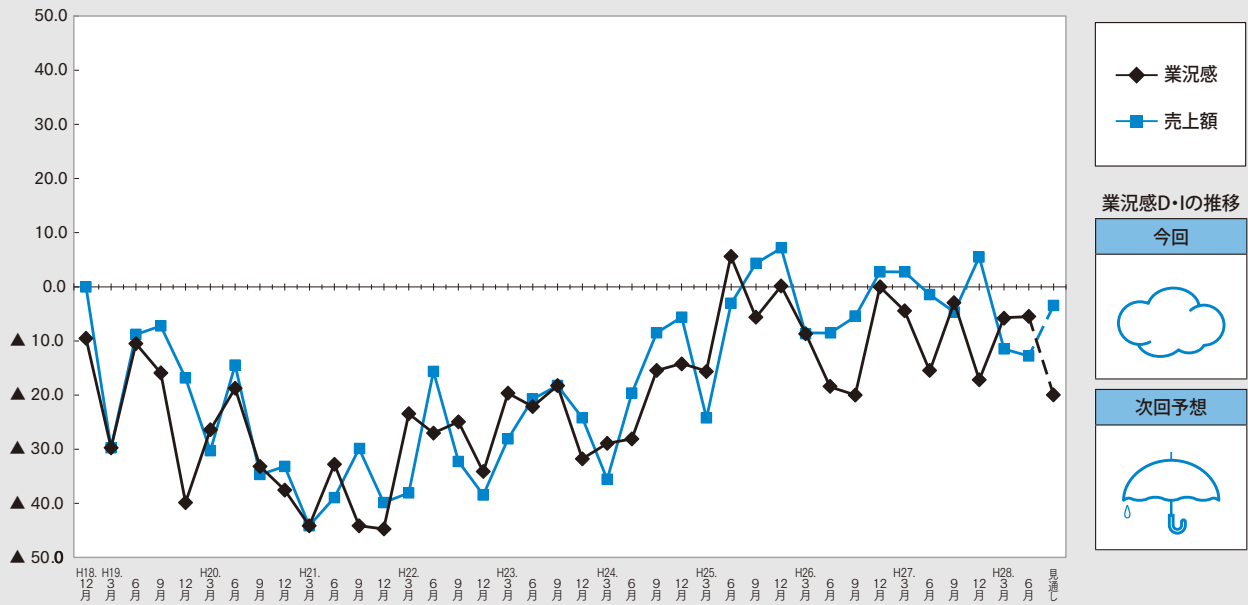


小売業

Retail trade

業況感横ばい

D・I 推移グラフ (小売業)



1 今期 (平成28年4 - 6月期)

前期10ポイント超改善した小売業の業況感だが、今期も横ばい(前期▲5.8、今期▲5.7:前期比0.1ポイント上昇)となり、前期の水準を維持している。売上額や仕入価格はやや悪化したものの、販売価格の改善や在庫圧縮等の効果もあり、収益D Iも横ばいで推移した。

人手は不足感が上昇。資金繰りが前期比で8.6ポイント悪化した結果、借入れを行った割合もわずかに増加した。

2 来期の予想 (平成28年7 - 9月期)

来期の業況感は、今期の横ばいから一転して大幅に悪化。▲20.0と今期から14.3ポイントの悪化となる見込み。

業況感以外の項目の推移を見ると、今期大幅に悪化した仕入価格D Iが、来期も引き続き悪化して▲20.0となる一方、その他の項目では改善が予想されており、事業としては堅調な推移が期待されている。

DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H27. 6月期	H27. 9月期	H27. 12月期	H28. 3月期	H28. 6月期	来期 見込み
業況感	▲ 15.7	▲ 2.9	▲ 17.1	▲ 5.8	▲ 5.7	▲ 20.0
売上額	▲ 1.4	▲ 4.3	5.7	▲ 11.4	▲ 12.9	▲ 4.3
収益	▲ 5.7	▲ 11.4	1.4	▲ 11.4	▲ 11.4	▲ 4.3
販売価格	14.3	2.9	4.3	▲ 4.3	5.7	8.6
仕入価格	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 2.9	▲ 18.6	▲ 20.0
在庫	▲ 11.4	▲ 11.4	▲ 14.3	▲ 7.1	▲ 2.9	0.0
資金繰り	▲ 7.1	▲ 17.4	▲ 25.7	▲ 15.7	▲ 24.3	▲ 22.9
人手	7.1	4.3	14.3	2.9	14.3	14.3
設備状況	7.1	4.3	15.7	13.0	11.4	10.0

業況調査メモ

新学年・新年度シーズンの春、お盆前、歳末は1年で最も商店街がにぎわう期間。この時季に鹿児島商工会議所は全市連合大売り出しを実施し、買い物額に応じて抽選券を発行し、海外旅行など豪華景品を用意して消費者の購買意欲を盛り上げてきた。1930年の「春の市」「秋の市」をルーツに、季節の風物詩として消費者に親しまれてきたが、2009年に春を廃止したのに続き、今年12月の歳末で事業を終了する。ITを活用した無店舗販売や通信販売が普及し、消費者の購買形態が大きく変化。参加店舗数が年々減少傾向にあり、全市的な共同販促事業としての継続が困難になったのが理由。